

参加申込

参加者

大会事務局

- A 個人で申込の場合…**
右下のQRコードから申込フォームにアクセスし申込【期限:8月31日】

B 教育委員会などの団体で申込の場合…
HPから申込用紙(Excelシート)をダウンロードし、メールで申込
メールアドレス / kakizaki@kokocolor.life 【期限:8月31日】
- 請求書、申込確認書を発送【9月初旬】
- 指定口座へ費用の振込【期限:9月24日】

※本大会に係る表彰者については参加費無料としておりますので、お申込手続きの際はご注意ください。

A 個人申込の方は
こちらから▶▶▶



申込フォーム

B 団体申込の方は
こちらから▶▶▶



大会HP

会場案内

全体会や分科会は、当日、インターネットでのライブ配信を行います。
リモート参加の方へは、後日、参加方法等についてお知らせいたします。
詳細については、大会ホームページをご覧ください。

全体会・分科会会場

新庄市民文化会館

山形県新庄市堀端町4番67号 TEL/0233-22-7029

分科会会場

新庄市民プラザ

山形県新庄市大手町1番60号 TEL/0233-22-4200

◆お車で越しの方は会場の駐車場、または新庄駅東口駐車場、最上公園あじさい広場駐車場をご利用ください。



山形県新庄市イメージキャラクター
かむてん
©新庄市×富樫義博

大会事務局

第43回 全国公民館研究集会
令和3年度 東北地区社会教育研究大会
第66回 東北地区公民館大会山形大会
(兼)第12回 山形県社会教育研究大会
第59回 最上地区生涯学習推進大会
第38回 山形県生涯学習振興最上大会

実行委員会事務局

〒996-0002
山形県新庄市金沢字大道上2034
山形県教育庁最上教育事務所社会教育課内
TEL/0233-29-1441 FAX/0233-23-5573
【担当:八城 良美】



新庄まつり:ユネスコ無形文化遺産

第43回 全国公民館研究集会
令和3年度 東北地区社会教育研究大会
第66回 東北地区公民館大会山形大会
(兼)第12回 山形県社会教育研究大会・第59回 最上地区生涯学習推進大会
第38回 山形県生涯学習振興最上大会

＝ 研究主題 ＝

「未来を拓く社会教育の在り方」

～引き継ごう地域の宝と絆 生み出そう新しい地域の姿～

山形大会
新庄会場

令和3年 10/14 木

山形県内のみ参加可能/他東北各県はリモート参加
会場 | 新庄市民文化会館・新庄市民プラザ(無観客)

参加費

- ◆山形県内の方/2,000円〔当日の資料・記録集〕
(※当日ご希望の方は別途1,000円)
- ◆山形県外の方/WEB視聴無料
(記録集をご希望の方は別途1,000円)

対象

- ◆全国・東北各県及び市町村の社会教育委員
- ◆公民館関係者 ◆社会教育関係職員
- ◆生涯学習・社会教育・学校教育関係者
- ◆社会教育に関心のある方

主催

公益社団法人全国公民館連合会、一般社団法人全国社会教育委員連合、東北地区社会教育委員連絡協議会、東北地区公民館連絡協議会、山形県社会教育連絡協議会、最上地区生涯学習推進協議会

共催

山形県教育委員会、山形県市町村教育委員会協議会、新庄市教育委員会、金山町教育委員会、最上町教育委員会、舟形町教育委員会、真室川町教育委員会、大蔵村教育委員会、蛙川村教育委員会、戸沢村教育委員会

後援

文部科学省、全国公民館振興市町村長連盟、社会教育団体振興協議会、青森県教育委員会、岩手県教育委員会、秋田県教育委員会、宮城県教育委員会、福島県教育委員会、山形県、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、蛙川村、戸沢村、山形県市長会、山形県町村会、公益財団法人山形県生涯学習文化財団、山形県連合小学校長会、山形県中学校長会、山形県高等学校長会、山形県特別支援学校長会、山形新聞・山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、NHK山形放送局、朝日新聞山形総局、毎日新聞山形支局、読売新聞山形支局

大会内容

リモート開催

10月14日(木) 9:00~16:00 新庄市民文化会館・新庄市民プラザ

趣旨

戦後、新たなスタートを切った我が国の社会教育・公民館活動は昭和から平成、そして令和へと、それぞれの時代を背景に様々な事業を展開し、地域づくりや文化の振興等に大きく寄与してきました。そのような中、近年は人口減少に伴う地域の担い手が不足したり、人と人とのつながりが薄くなったり等、地域社会での課題が顕在化してきました。さらに昨年の新型コロナウイルス感染症の影響で私たちの生活は一変しました。日本のみならず世界が新たな生活様式を模索していく中、社会教育・公民館活動の在り方も大きな転換点を迎えています。これまで連続と築き上げられてきた地域の宝や絆・風土を生かしながら新たな時代の地域づくり・人づくりを推進するための社会教育・公民館活動の在り方について、東北各地の実践を持ち寄りながら研究・協議することによって、今後の社会教育・公民館活動の一層の充実と発展を目指します。

大会スケジュール

9:00	9:25	10:05	11:10	12:30	13:45	16:00
受付	開会行事 次期開催県挨拶	郷土からの メッセージ	シンポジウム	※ 昼食休憩	分科会 (分科会毎閉会)	
新庄市民文化会館				移動	新庄市民文化会館 新庄市民プラザ	

※最上伝承野菜を使った地元高校生考案の弁当を用意しております。ぜひご賞味ください。(事前申込制)

開会行事

9:25~10:00

- | | | |
|-------------|---|-------------------------|
| (1) 開会のことば | 大会会長 東北地区社会教育委員連絡協議会 会長 | 安藤 耕己 |
| (2) 国歌斉唱 | | |
| (3) 主催者挨拶 | 公益社団法人 全国公民館連合会 会長
一般社団法人 全国社会教育委員連合 会長 | 中西 彰
鈴木 真理 |
| (4) 来賓挨拶 | 文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課長
山形県教育委員会 教育長
新庄市長 | 根本 幸枝
菅間 裕晃
山尾 順紀 |
| (5) 表彰 | 公益社団法人 全国公民館連合会 表彰
東北地区社会教育委員連絡協議会 表彰
東北地区公民館連絡協議会功労者 表彰
山形県社会教育連絡協議会 表彰
最上地区生涯教育功労者 表彰 | |
| (6) 次期開催県挨拶 | 「福島県」 | |
| (7) 閉会のことば | 東北地区公民館連絡協議会 会長 | 熊澤 義也 |

郷土からのメッセージ

10:05~11:05

- | | |
|-----|-------------------------|
| 群読劇 | 「土に叫ぶ人 松田基次郎～宮沢賢治を生きる～」 |
| 出演 | 新庄演劇研究会、新庄種プロジェクト、東北幻野 |

シンポジウム

11:10~12:30

- | | | |
|----------|--|------------------------|
| 演題 | 「郷土づくりと地域からの文化の発信と創造」～宮沢賢治と松田基次郎の実践から学ぶ～ | |
| コーディネーター | 東北芸術工科大学 特命教授 | 渡部 泰山 |
| シンポジスト | 新庄市社会教育委員 | 近江 正人 (新庄演劇研究会 代表・詩人) |
| | 新庄ふるさと歴史センター 所長 | 八 楸 幸 紀 (新庄種プロジェクト 代表) |
| | 金山町立金山小学校 教諭 | 海 藤 富 美 (東北幻野 団員) |

分科会

13:45~15:45

第1分科会

会場

新庄市民文化
会館大ホール

テーマ

持続可能な地域づくりの担い手となる若者や女性が活躍できる社会の構築【若者活躍・男女共同参画】

助言者 山形大学 地域教育文化学部
事例提供者 一般社団法人とらいあ(山形県)
NPO法人 みやっこベース(岩手県)

教授 安藤 耕己
専務理事 高橋 一枝
理事・事務局長 早川 輝

第2分科会

会場

新庄市民プラザ
大ホール

テーマ

地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくりの推進【学校・家庭・地域の連携協働】

助言者 一般社団法人とちぎ市民協働研究会
事例提供者 高島町和田地区地域学校協働本部(山形県)
仙台市立柳生小学校(宮城県)

代表理事 廣瀬 隆人
地域コーディネーター 二瓶 ひろみ
教頭 水口 芳仁
学校支援地域本部スーパーバイザー兼 地域学校協働活動推進員 石橋 ひろみ

第3分科会

会場

新庄市民プラザ
ギャラリー

テーマ

これからの時代を見据えた公民館とコミュニティセンターの在り方【公民館活動と地域コミュニティ】

助言者 弘前大学 教育学部
事例提供者 和合の里を作る会 庄内町余目第四公民館(指定管理者)(山形県)
にかほ市教育委員会 仁賀保労働青少年ホーム(秋田県)

准教授 越村 康英
館長兼 事務局長 高橋 逸夫
副主幹 須藤 恵

第4分科会

会場

新庄市民プラザ
小ホール

テーマ

誰もが共に成長し認め合える地域社会の実現【障がい者の生涯学習・共生社会】

助言者 東北大学大学院 教育学研究科
事例提供者 NPO法人 指定障がい福祉サービス事業所「すぎのこハウス」(山形県)
障害者支援サークル「麦の会」代表/障害者サークル「くみの木」主宰/
青森市中央市民センター主催「はまなす青年教室」サポートリーダー(青森県)

准教授 松本 大
所長 佐藤 明美
若木 政人

第5分科会

会場

新庄市民文化
会館小ホール

テーマ

これからの時代に求められる社会教育委員と公民館運営審議会委員の役割【社会・公民館に係る委員の役割】

助言者 福島大学 うつくしまふくしま未来支援センター
事例提供者 醍醐地区慈恩寺花火大会実行委員会(山形県)
川内村コミュニティ未来プロジェクト(福島県)

特任教授 天野 和彦
事務局長 茂木 藤雄
事務局長 佐原 禪

閉会行事(各分科会会場にて) 閉会宣言

15:45~16:00